

# とってもやさしい アポイ岳ジオパーク講座 【第2回】

# 見どころは どこにあるの？ その1

今回は、ジオパークの見どころのうち、2つの「エリア」を紹介します。

今回は、その5つのうち、2つのエリア：「アポイ岳エリア」と「新富エリア」を紹介するね。

えー、そんなにあるんだ！

ジオパークでは、地球を実感できるような場所やもの、つまり見どころのことを「ジオサイト」、ジオサイトが集まっている地域を「エリア」と言うの。アポイ岳ジオパークには5つのエリアに33カ所のジオサイトがあるよ。

もちろん！「地球を実感できるような場所やものがある、それらを守ったり、学んだり、楽しんだりできるような工夫がされているところ」だったよね。でも、その「場所やもの」は様似町のどこに、いくつあるんだらう？

8月号から始まった「とってもやさしいアポイ岳ジオパーク講座」。第1回ではジオパークがいったい何なのかってことを紹介したけど、カンランくん、おぼえてる？



かんらん岩でできた世界でも珍しい山、アポイ岳。かんらん岩の土は植物にとってはとても住みにくいもの。また、海に近いため霧が多く夏でも涼しく、雪が少ないため冬の間は地面が吹きさらしになります。

標高810mしかないアポイ岳で高山植物がみられるのは、こうした高山に似たきびしい環境のおかげなのです。さらに、アポイ岳には、ヒダカソウなどの「世界でここにしかない花」がたくさんあります。手軽に登れて珍しい花が見られるアポイ岳は、全国の登山者のあこがれの的なのです。

新富周辺の山間部には石灰岩がたくさんあり、古くから採掘されています。石灰岩は海にいるサンゴなどの死がい（死骸）が海の底に積み重なり、長い年月をかけて固まってできた岩石です。

でも、なぜ様似の海にはサンゴがないのに、ここに石灰岩があるのでしょうか。実は、これらは何千kmもはるか南の海から、地面の動きによってゆっくり運ばれてきたものなのです。

このエリアでは、石灰岩のほかにも、同じく南の海から運ばれてきたチャートという岩石も見ることができます。